

個人気象局その2(WMR100 購入)

JJ1SXA 池

第 69 号(平成19年 12月発行)に「個人気象局」という記事を書きましたが、あれから既にもう2年余、当時は安い物でも約 200K 円位出さないと入手できなかった気象観測機器が、1 昨年から安価な物が出回り、JA ハムの間でも大ブレイク？

私も、安い！ に惑わされて衝動買い、アメリカの商品ですが、発注から約 40 日後、香港から送られてきました。(良く見ると made in china の刻印が…)

製品は、アメリカの Oregon SCIENTIFIC 社の「Weather Station WMR100」というもので、大まかには、「ベースステーション」、「気温・湿度・気圧計」、「風向・風力・風速計」、「雨量計」の4つで構成されていて、「ベースステーション」と「気温計」等とのデータは無線でやりとりします、ベースステーションには、室内温度計・湿度計が内蔵されていますし、USB ポートがあり、USB ケーブルも付属、PC との接続は簡単、時計もついています。(電波時計ですが、日本の電波受信には不対応なのは残念)

安価だけのことはあり？ 想像よりかなり小型、付属のポール以外は、ほとんどプラスチック製、おもちゃのような感じで、耐久性は大丈夫か？と若干不安です。

設定は、温度表示を華氏から摂氏表示(°C)に変更、他には時刻合わせ位で、他には特に無く、後は設置、「風向・風速計」の設置はベランダにしようと思ったが北西方向が家でブラインドになるので、全方向の風を受けるタワー中段に(気温・湿度計も同じ場所)、雨量計は、板にネジ止めし、水平面が保持できる物置の屋根上に据付。

ベースステーションに表示される気温等のデータを、気象庁他の立川市の気象情報の他、自宅から約 1.5km の JF1AJE 局の APRS の WX ステーションや、距離約 1km 強の立川基地飛行場の METAR の情報と見比べ、また一寸距離がありますが、気象庁の八王子観測所や青梅観測所のアメダスのデータや横田基地の METAR のデータも参考に、それと木村 OM から頂いた温度計(今度、自動車用にした)の数値と比較、ほぼ正確な表示になっていることを確認して、とりあえず一段落。

この後、ベースステーションのモニター画面で見ているだけで無く、PC につないで PC の画面で見たり、APRS の WX Station を立ち上げたり、更に HP にリンク、個人気象局として一般公開するためには、Weather Display というソフトを使いこなさなければいけません、「Weather Display」は US\$70 で 30 日トライアルとなっています、支払いは Paypal で済ませれば、レジスターコードが生きるようです、また PC との接続も USB ケーブルを差して COM ポートの設定を済ませれば良いし、APRS のソフト UI-View32 の設定も比較的簡単のようです、問題は、画面をキャプチャー、WEB に転送する設定が大変のようです、なにしろ説明は全て英語…何時もの事ながら、ウ～ン！ hi

取り急ぎ、「WMR100」を購入し、設定と設置を済ませたところまでの報告です、その後のことは、また改めて記事にしたいと思いますが、どうなっていることやら。